

# 小松・穴水に資材拠点

## 大成機工 能登半島地震対応で 水道施設の倉庫を借用

1日の能登半島地震を受けて、大成機工は小松市と穴水町に復旧資材の流通拠点を立ち上げた。両市町の協力を得て水道施設内の倉庫を拠点とし、多様な資材を迅速に出荷している。施工体制の確立により不断水工事にも対応する。

同社は1日の発災直後、本社（大阪市）に災害対策本部を、東京支店と北陸営業所（金沢市）に地域対策本部をそれぞれ設置。三田工場（兵庫県三田市）・東京工場と連携して復旧資材の供

給を開始した。

翌2日には小松市上下水道局から丸の内配水場の倉庫を借り受け、石川県内に復旧資材の拠点を構築した。さらに9日、穴水町上下水道課の協力により上野浄水場の倉庫を借用し、大規模な断水が続いている能登地域北部に第2の拠点を設置。出荷・引き取りのために社員2名を配置し、1日も早い復旧を側面から支援している。準備している復旧資材は▽各管種直管部分の補修材料「ヤノ

ジョイント」▽継手部分の補修材料「フクロジョイント」▽ダクタイル鋳鉄管継ぎ輪の接続などに用いる「特殊押輪」▽塩ビ管・鋼管・石綿管・鋳鉄管等の異種管接合などに用いる継手「V-Kingシリーズ」▽不断水割T字管▽フランジ継手部などを補強する「フランジサポート」▽フランジ補強金具▽異径・異種管継手「シノフレックス」――など。

不断水工事の施工体制も整えており、漏水修繕で切り回し工事が必要になった際には速やかに対応する。さらに、現地入りした技術部員が被害状況の調査や補修方法の提案、管工事業者向けの指導などを行っているという。

小松市上下水道局・山上茂局長の話 災害協定に基づき、1日の晩から小松市内の丸の内配水場へ各種継手や漏水資材を早急に配置していただいた。被害を受けた管路の復旧を今後も支援していきたい。

穴水町上下水道課・勝本健一課長の話 震災発生後、迅速に復旧資材を搬入していただき感謝している。現在は管路の復

旧・漏水対応等の作業を急ピッチで進めているところ。倉庫の提供という形で復旧に向けた拠点を支援したい。



幅広い資材で不断水工法にも対応(小松市)

半島北部の復旧に貢献(穴水町)